果実とやすらぎの里・北海道仁木町

令和5年5月18日発行

第139号

議会だより にき

今年の予算
過去最大　攻めの新年度予算

CONTENTS

特　集　未来の子どもたちのために　町民がしてほしいこと　20

第1回 Town NIKI assembly 定例会

今年のしごとピックアップ　6

町政のそこが聞きたい　一般質問　3人の議員が登壇　15

提言は予算に反映されたのか　22

議会HPはコチラからCheck!

絆 なかよし3きょうだい！（関連記事24ページ）

仁木愛（にぎあい）溢れる町づくり

定例会のあらまし

第１回定例会は、令和５年３月10日に開会し、３月22日に閉会しました。

町から、新年度当初予算、令和４年度補正予算、条例制定、条例改正、指定管理者の指定が提案され、全ての議案を可決しました。

なお、新年度当初予算、当初予算関連議案（条例制定２件、条例改正３件、指定管理者の指定１件）は、予算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行い、最終日の本会議において、付託した全ての議案を可決しました。

また、議会提出議案として、条例制定１件、陳情１件、意見書３件を提出し、陳情は総務経済常任委員会へ付託、意見書は全て可決しました。

一般質問では、３人の議員が登壇し、町長に考えを問いただしました。

新年度のまちの予算

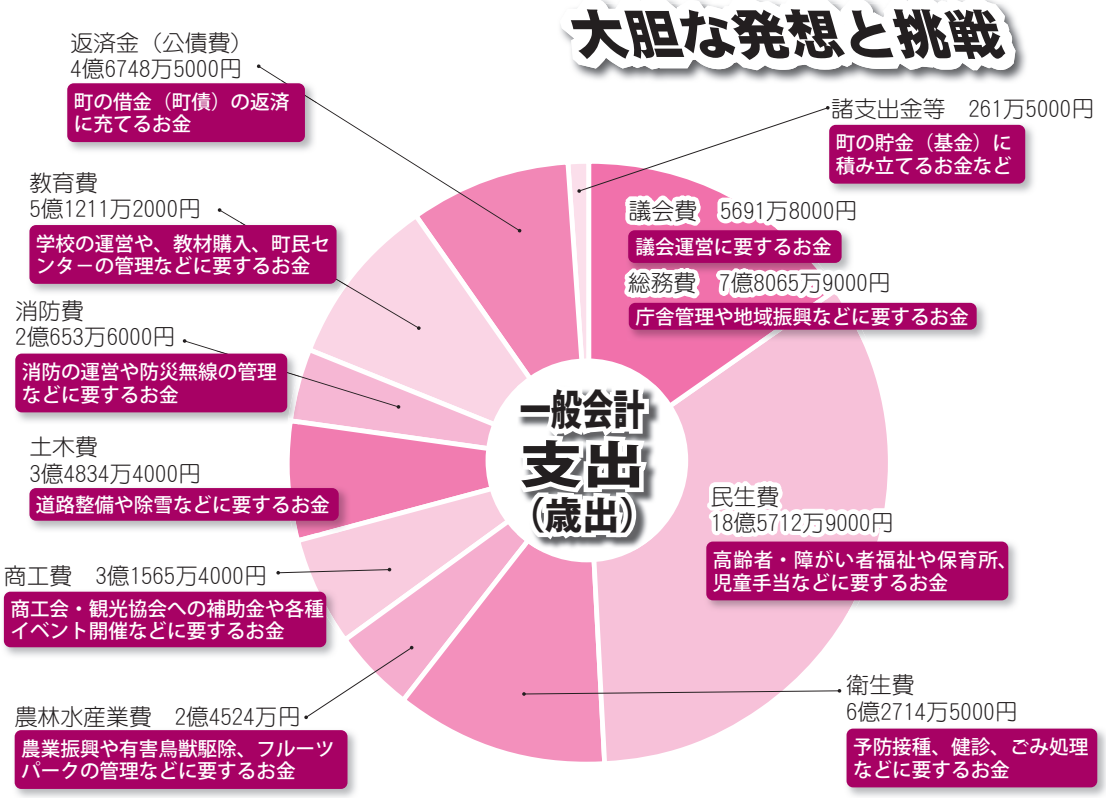
次ページは 新年度予算の概要

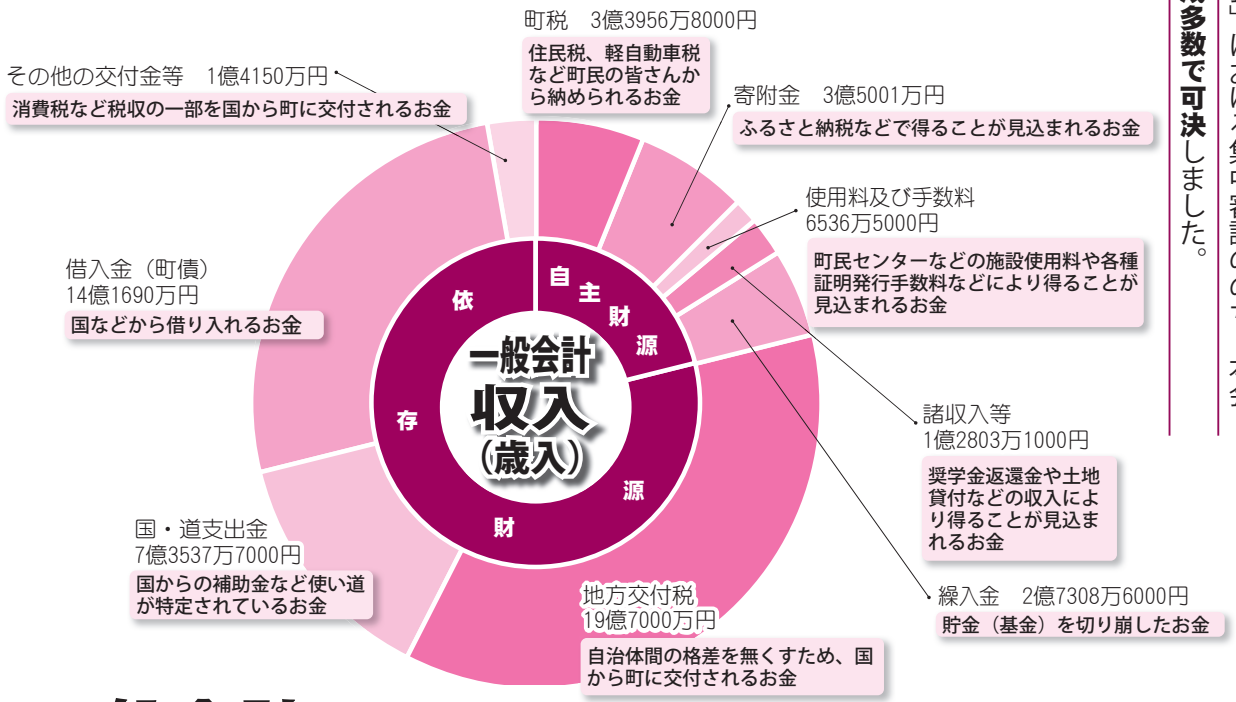
令和５年
第１回定例会
3月10日～22日

攻めの新年度予算
大胆な発想と挑戦

令和５年第１回定例会において、令和５年度一般会計予算と国保・簡水・後期高齢者医療の各特別会計予算が提案されました。

これに伴い設置された「令和５年度各会計予算特別委員会」における集中審議ののち、本会議において、討論・採決を行った結果、すべての会計を**賛成多数で可決**しました。

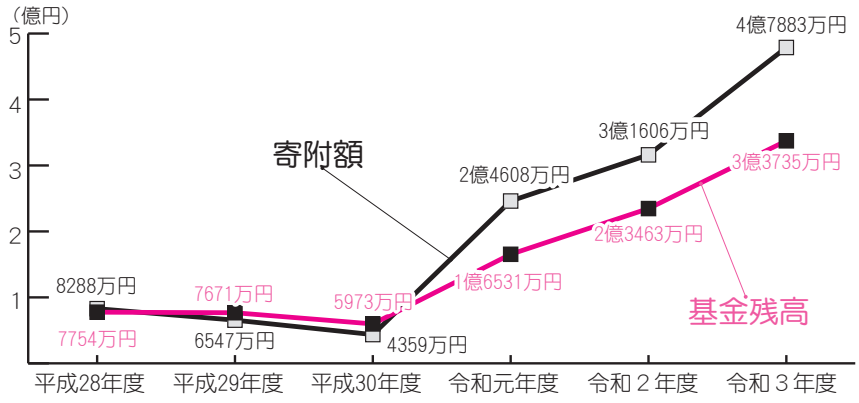




一般会計（歳入・歳出）
54億1983万7000円【前年度対比20.7%増】

新年度 予算 過去最大

ふるさと納税寄附額とふるさと振興基金残高推移



ふるさと納税寄附額は、大きく増加傾向にあり、令和５年度も約３億５千万円を見込んでいます。

寄附額から返礼品やそれに係る経費等を除いたものが、ふるさと振興基金に積み立てられます。

ふるさと振興基金も、納税寄附額の増加により残高が増えています。

ふるさと振興基金は、町の振興発展及び地域づくりに必要な経費に使用するものであり、令和５年度は、総合戦略のための事業、地域づくりに必要な事業から町民に身近な事業等の財源として活用することとしています。

特別会計

国民健康保険事業	2億213万3000円【前年度対比 3.6%増】
簡易水道事業	2億4273万2000円【前年度対比53.2%減】
後期高齢者医療	7791万2000円【前年度対比 1.5%減】

町政執行方針

自信をもって町づくりを進める

佐藤（さとう） 聖一郎（せいいちろう） 町長

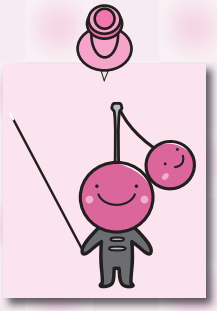
佐藤町長は、令和５年度町政執行方針において、「令和５年１月30日に総務省から公表された『人口移動報告』によると、全国の多くの市町村が転出超過となっている中、本町は２年連続して、転入超過となりました。

これまでの定住人口の拡大に向けた施策の成果が確実に表れていることを認識し、この成果と実績のもと、自信をもって町づくりを進めて行くことへの決意を新たにしたところであります。

仁木町の未来を見据え、持続可能な自立した行財政基盤の確立に十分留意し、前例にとらわれることなく、柔軟で大胆な発想と挑戦し続ける行動力をもって、職員と一丸となって引続き全力で取り組んでまいります。」と述べました。

次ページは 今年のしごと ピックアップ

しごとアップ



新規 帯状疱疹予防接種費用を助成

58万円

2種類のワクチンが存在します

帯状疱疹発症及び帯状疱疹後神経痛を予防するため、50歳以上の町民に対し、1回1万円を上限として接種費用の1／2を助成します。

ちょっと言わせて！

（北町・本間（ほんま）さん）

罹患した方の話を聞くと、痛みが一年近くも残ったという方もいます。

私は昨年接種しましたが、効果がなくなる時期に、また接種したいと思っており、とても良い取組だと思います。

新規 太陽光発電施設の設置可否を検証

630万円

再生可能エネルギー導入に向けた取組です

役場庁舎等複合施設の構造計算書を基に建物屋上・壁面への太陽光発電システム設置可否を検証します。

ちょっと言わせて！

（大江・鎌田（かまだ）さん）

太陽光発電システムが設置できたら、発電実績を公表してほしいです。

その実績は町民の再生可能エネルギー導入の検討材料になると思います。

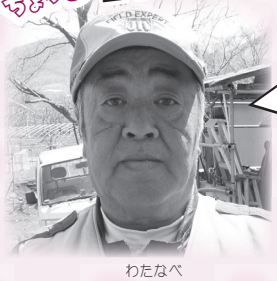
継続 エゾシカ捕獲に支援

207万円

シカによる被害は増加傾向にあります

エゾシカの個体数を減らすことを目的に、1頭の捕獲に対し、これまでの7千円に加え、町から2万円を支援します。

ちょっと言わせて！



（旭台・渡邉（わたなべ）さん）

世界情勢により弾薬の価格も高騰しているので、ありがたいです。

シカを獲った後の処理体制の整備も行ってほしいです。北後志など、広域で考えることはできないでしょうか。

今年のピック

新規 シャインマスカット長期保存試験事業

50万円

冷蔵庫の導入件数も増えています

既存冷蔵庫の中に保冷パネルを設置し、シャインマスカットの鮮度保持期間を長期化する取組へ支援します。

ちょっと言わせて！

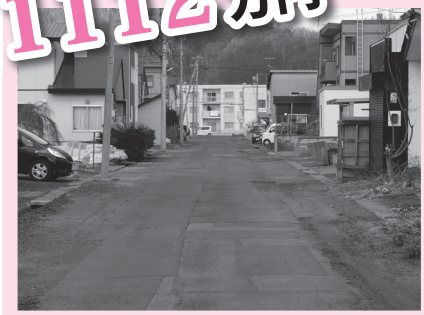
（東町・森さん）

町の基幹産業に補助してくれることを嬉しく思います。

町や他の生産者の期待に応えられるようデータを集め、良いものは導入を進めていきます。

新規 町道仁小前線測量設計委託業務

1112万円



議会では令和元年に調査しました

令和6年度の道路改良工事に向け、令和5年度は測量設計委託業務を実施します。

ちょっと言わせて！

（北町・須藤さん）

私も約20年前に、半舗装の道路を全舗装にしてほしいと要望を出したことがあります。地域の子どもにとっては雨の日の通学は大変でした。

長年の願いが叶い、大変嬉しく思います。

新規 スキー場リフト等更新事業

3271万円

魅力的な施設になることを期待します

仁木町民スキー場は2年間休止し、リフトとナイター照明を更新します。

令和5年度は実施設計を行います。

ちょっと言わせて！

（銀山・加藤さん）

近隣のスキー場は高級志向なので、差別化を図り、気軽にスポーツを楽しめる場所として、また、町民にメリットがあるように運営してもらいたいです。リフトの乗降場は安全性を確保してほしいです。

次ページは 新年度予算の使い道

予算の使い道

新年度一般会計・特別会計の当初予算案や当初予算関連議案などは、議長を除く議員8名で構成する「各会計予算特別委員会」を設置し、延べ3日間にわたり審査を行いました。

議案説明後、活発な質疑が行われ、全ての質疑が終わった後、議案ごとに討論・採決を行った結果、全ての議案を賛成多数で「可決すべきもの」と決定しました。

委員会での質問数 156回

コロナ禍前には
地域おこし協力隊の活動発表の場もありました

協力隊の活動発表の場を

佐藤 地域おこし協力隊は過去に一人ずつの持ち時間を決めて、活動内容を発表していた。

町民の皆さんに活動を理解してもらうためにも、そのような場を設けては。

企画課主幹 過去には発表の場があった。現在の隊員5名は活動の2年間においてもコロナ禍で難しかったが、少しずつPRにも力をいれて、知っていただく取組を行ってまいりたい。

ワクチン接種の想定人数は

上村 始めて帯状疱疹の予防接種費用を助成するが、受ける人数の想定は。

ほけん課主幹 実際の罹患者の把握は難しいが、疫学調査の統計からみるとおよそ1%程度という

狩猟免許取得補助事業の年齢設定の根拠は

木村 狩猟免許等の取得補助事業について、対象に50歳以下の者という条件がある。

60歳以下のハンターで25名という目標だが、50歳以下とした根拠は。

産業課長 狩猟免許をとって、10年間は猟友会に入っていただくことが条件になっている。

60歳の到達まで10年間ということで50歳という制限を設けていると記憶している。

佐藤秀教（さとう ひでのり） 委員

嶋田 茂（しまだ しげる） 委員

野崎明廣（のざき あきひろ） 委員

木村章生（きむら あきお） 委員

予算特別委員会で徹底審議

皆さんの税金 新年度

ふるさと納税PRの強化は

佐藤

新型コロナウイルスの対応も変わり、経済活動が活発になることで、寄附額にも影響が出ると考えるが、意識した取組は。

産業課主幹　各サイトのキャンペーンを活用し、特産品をPRすると共に、オンラインワンストップ申請も拡充し、主要サイトで可能となるように取組んでまいりたい。

過去には森林環境譲与税を活用して
フルーツパークの一部設備を入れ替えました

事業の対象となる河川は

野崎

町内にはここ数年、増水により土のうで対応しているような河川もあるが、緊急自然災害防止対策事業の対象となる河川は資料に掲載されているものしかないのか。

建設課主幹　護岸されていない河川も本事業の対象となる。担当係としても、パトロール等を続け、対象となるような河川があった際には、取扱いを協議していきたい。

ALT減員の理由は。

嶋田

減員の理由はALTの活用状況を踏まえて、効率化を図った結果とのことだが、時代に逆行しているのではないか。

教育委員会主幹　英語教育は重要であるということで総合的に強化して取り組んでいる。

減員の要因としては、効率化のほかに、タブレットのデジタル教科書を使うことで、ネイティブの発音などを聴くことができる環境が整ってきたことがあげられる。

森林環境譲与税の運用は

佐藤

森林環境譲与税は全国でも2019年度から2021年度までの実績で47%が未活用であるとのことだが、本町はどのように運用していくのか。

産業課長　本町においても基金に1千万円近くの積み立てがある。

今年度は子どもセンターの木材の他、森林システムの使用料等に充当している。

今後も、森林に関する啓発活動や公共施設の木材使用などで活用を図っていきたい。

麿（まろ） 直之（なおゆき） 委員長

上村智恵子（うえむらちえこ） 副委員長

宮本幹夫（みやもとみきお） 委員

横関一雄（よこぜきかずお） 議長（オブザーバー）

次ページは 第1回定例会審議内容

地域おこし協力隊の活動成果に期待

令和５年
第１回定例会
3月10日～22日

補正予算

◇一般会計（専決第５号）
◇一般会計（専決第６号）
◇一般会計（第６号）

一般会計補正予算（第６号）は、歳入では、ふるさと納税寄附額の追加等、歳出では地域おこし協力隊活動報償費や地域おこし協力隊助成金、各種事業の完了による減額補正等が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

◇国保特別会計（第４号）
全員賛成で可決

◇後期医療特別会計（第３号）
全員賛成で可決

◇簡水特別会計（第３号）
全員賛成で可決

質疑あれこれ

地域おこし協力隊の助成金が１４９万２千円減額となっている。当初予算では助成金のうち、活動奨励助成金として３０５万円を組んでいたが、実際にどのような活動をされたのか。

企画課長　活動奨励助成金の使途は、それぞれの活動に必要な消耗品、町外への研修等に参加するための旅費、研修等に必要な書籍代などであり、研修の実績としては、ワインの振興として、仁木町産ワインのＰＲを行うために道外の研修に参加する等している。

研修については、具体的に何名がどこに行って、どのような研修に参加したのか。

企画課長　研修先については、札幌市のセミナー等への参加がある。

ワイン関連の隊員については、２人が今後の起業等に活かす目的で沖縄県に行っており、沖縄県のワインを提供するお店と協力しながら、仁木町のワインの提供・ＰＲ、料理とのペアリングということで研修をしてきている。

令和４年度各会計補正予算結果

	補正額	予算総額
・一般会計（10回目の補正）	※専決第５号	
	57万8000円増	48億2124万6000円
・一般会計（11回目の補正）	※専決第６号	
	870万3000円増	48億2994万9000円
・一般会計（12回目の補正）		
	7834万1000円減	47億5160万8000円
・国民健康保険事業特別会計（３回目の補正）		
	189万5000円増	1億9716万4000円
・簡易水道事業特別会計（２回目の補正）		
	3416万9000円減	4億8404万3000円
・後期高齢者医療特別会計（２回目の補正）		
	641万9000円減	7276万4000円

指定管理者
コンサドーレに決まる

4月1日には札幌ドームにて包括連携協定を締結しました

指定管理者

ふれあい遊トピア公園及び仁木町民スキー場の指定管理者の指定についてが提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

この度の指定管理者の指定については、当該施設の管理運営業務に係る民間提案制度の公募を行い、公募の結果、株式会社コンサドーレを受託者と決定しており、その後の指定管理者選考委員会を経て同社を指定管理候補者と選定していたもので、議会での議決により指定管理者として決定されました。

なお、指定管理期間は令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間です。

新年度一般会計予算に反対討論
『関係人口創出に向け、十分な議論を！』

討論

反対

町長は第6期総合計画などで、充実する施策として農作物や観光資源を活用した関係人口の創出としているが、今回の予算では関係人口の創出が見込めず、それに対して十分な議論が庁内で重ねられていないと感じるため反対する。

賛成

自主財源の乏しい本町にとって、ふるさと納税が2年連続4億円以上の成果をあげたことは評価でき、また、各種事業も本町の未来を見据えた施策が予算に反映されている。今後も持続可能な自治体運営及び財政運営に期待し、賛成する。

令和5年第1回定例会 賛否の分かれた議案の公表										議決結果
令和5年度余市郡仁木町一般会計予算（起立採決）	●	○	欠席	○	○	○	○	○	－	原案可決

○…賛成、●…反対　　※全員賛成の議案は、掲載していません。また、議長は採決には加わりません。

次ページは 第1回定例会審議内容

令和５年
第１回定例会
３月10日～22日

住民福祉と生活環境の向上を図る

条例改正

仁木町課設置条例の一部改正が提案され、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**しました。

この度の改正は、少子化・高齢化の加速や脱炭素を始めとする社会変革の動きを捉えた取組を展開するために行うものです。

質疑あれこれ

この度の条例改正は、施策の迅速かつ適切な実施や、サービスの向上を図るため、福祉関係の業務の集約や脱炭素化に向けた取組を強化するためとのことだが、具体的にどのような効果が得られるのか。

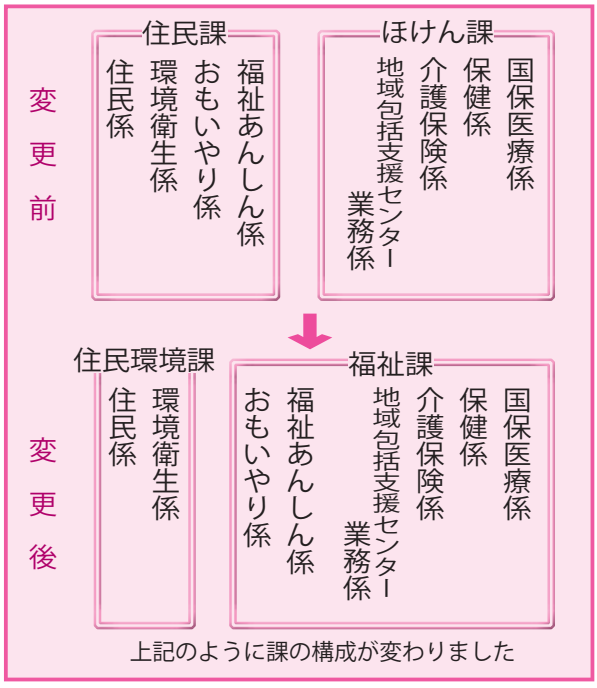
副町長　これまでも住民サービスは適切に図られているが、福祉分野については高齢者の保健事業、介護の一体的な実施や、子ども包括支援センターや高齢者対策など、医療・介護・子育て支援と密接につなげることで、事業を円滑に進めてまいりたい。

環境分野は、景観条例の策定やカーボンニュートラル実施等を極めて重要な施策として位置付けており、より効率的に進めていきたいと考えている。

福祉関係については、住民対応が多いが、高齢者の来客も多く、課名も変わり混乱することが想定されるが、対応をどのように考えているか。

副町長　サービスの提供については、ワンストップということで効率的にできると思うが、当初は混乱が想定される。

町の広報など、様々な媒体を活用して、改正の趣旨を説明させていただくとともに、来庁者に対して円滑にサポートできるように全ての職員が情報共有し、対応できるよう特段の取組をさせていただきたいと考えている。



その他の議案

▼仁木町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定
全員賛成で可決

▼仁木町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定
全員賛成で可決

▼仁木町手数料条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町地域支援事業及び生活支援事業条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町文化財保護条例の一部改正
全員賛成で可決

▼障がい者に係る欠格条項の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例制定
全員賛成で可決

陳情

総務経済常任委員会に付託

陳情

▼件名
「（仮称）古平・仁木・余市ウィンドファーム事業」に関する陳情

▼提出者
「仁木町の風力発電を考える会」
代表
瀬川裕人

「仁木町の風力発電を考える会」から『「（仮称）古平・仁木・余市ウィンドファーム事業」に関する陳情』が提出され、**総務経済常任委員会に付託し、審査**することに決定しました。

陳情主旨（原文）

【要旨】

「（仮称）古平・仁木・余市ウィンドファーム事業」の建設に反対致します。

議会に於かれましては、3月の町議会開催にあたり、左記の事に論議を尽くして頂きたく、お願い申し上げます。

【理由】

①低周波音などによる人体への影響
②自然生態系への影響
③土砂災害・水質悪化の恐れ
④建設計画地が社会福祉施設に近接すること

建設予定地に近接する銀山では、8割の住民が反対署名し、仁木町全体では、約3割の署名が集まりました。道内外とネット署名を合わせれば、約1万5，000筆の署名が集まり、住民の意思を無視できない状況になりました。

これからも、仁木町民全体の意志として、請願書提出に向け、風車反対署名活動を継続していきたいと思います。

以上、審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

その他の議案

▼仁木町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
全員賛成で可決

▼仁木町民センター設置条例の一部改正
全員賛成で可決

風車の建設が計画されている銀山の山々

佐藤町長の行政報告

ワイン産地づくり向けた取組

本町は、ワイン産業の振興やワイン文化の醸成を目的に、国の「地域力創造アドバイザー制度」を活用し、令和3年度より信州大学特任教授でフード＆ワインジャーナリストの鹿取みゆき氏を招聘したセミナーを開講しております。

令和4年度は全5回のセミナーを開催し、延べ129名が参加し、生産者の栽培知識や技術の高位平準化が図られました。

また3月1日には、本町のワイン文化の醸成を目的に、町内のワイナリーを巡る、町民向けの見学ツアーを開催し、13名の方に参加していただきました。

今後も、町内ワイナリー事業者や関係団体等と連携を図りながらワイン産業の振興やワイン文化の醸成に取り組んでまいります。

ふるさと納税4億5千万円超

ふるさと納税については、令和3年度に4億7800万円超のご寄附をいただき、令和4年度においても複数のポータルサイトを運用するなど、PR強化に努めているところです。

今年度は11月から1月までの申込が前年度対比130%と当初の見込みを上回り、2月末現在で4億5千万円を超えるご寄附をいただいています。

次ページは 意見書・一般質問のトビラ

令和５年
第１回定例会
３月10日～22日

国・政府等へ要望

子どもの命と安全を守るために増員を！

保育士配置基準の引き上げを要望

意見書

▼子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書

提出議員　上村智恵子
賛成議員　佐藤　秀教

コロナ禍で保育所の重要性は広く社会に認識されるようになったが、感染対策を徹底しながら、子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっている。

国は令和５年４月に「こども家庭庁」を創設して、これまで以上に子ども関連施策の充実・推進をめざし、予算も倍増するとしていることから、保育士増員、処遇の改善を国の責任で進めることを要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し関係機関に提出しました。

子育て家庭を支えています

人権を守る法整備を要望

▼ＬＧＢＴＱに関する差別を解消し、人権を守る法整備を求める意見書

提出議員　上村智恵子
賛成議員　木村　章生

性的指向、性自認を理由に、個人が不当な扱いをされたり、不利益を被るようなことは決してあってはならない。

令和５年１月時点では、性的少数者のカップルを自治体が認める「パートナーシップ制度」を導入している自治体は２５５自治体にのぼっている。

また、今年はＧ７サミットが日本で開催されるが、「ＬＧＢＴ差別禁止」や「同性カップルの法的保障」がないのはＧ７各国では日本だけである。

よって、性的指向や性自認に関する差別的取り扱いを禁止し、人権を守る法整備を行うことを要望するもので、審議・採決の結果、**全員賛成で可決**し関係機関に提出しました。

L 女性同性愛者 **esbian**（レズビアン）
G 男性同性愛者 **ay**（ゲイ）
B 両性愛者 **isexual**（バイセクシャル）
T 心と体の性が異なる人 **ransgender**（トランスジェンダー）
Q 性的指向・性自認が定まらない人 **uestioning**（クエスチョニング）

「Q」は Queer(クィア) とも言われます

その他の意見書

▼普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める意見書

提出議員　嶋田　茂
賛成議員　佐藤　秀教

全員賛成で可決

一般質問

第１回定例会の一般質問には、３人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。

町政のそこが聞きたい

さとう　ひでのり
佐藤　秀教　議員

地域活性化に向けた取組は 16

のざき　あきひろ
野崎　明廣　議員

地域公共施設の効率的な活用を 17

うえむら　ちえこ
上村智恵子　議員

令和５年度町政執行方針について 18

一般質問の詳しい内容はコチラから Check!
（第１回定例会）

ニキポーのなになに？

一般質問とは

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

次ページは 一般質問 佐藤議員・野崎議員

さとう　ひでのり
佐藤　秀教　議員

今後の観光振興の取組は

町長 フルーツパークにきの道の駅化を検討

問 農産物や観光資源を活用した関係人口創出の取組状況と今後の取組は。

町長 これまで、「ワインと伝統芸能のゆうべ」など交流人口の増加につながる観光施策の取組、定住・定着に向けては、国及び北海道と連携した地方創生移住支援金の実施、さらには、地域おこし協力隊員も仁木町の魅力づくり・魅力発信に鋭意取り組んでおり、今後においてもこれらの事業を共創し、関係人口の増加につなげていく。

問 後志自動車道のインターチェンジを活用した賑わいの創出等、今後の観光振興の取組は。

町長 観光農園への誘致は、仁木インターチェンジの開通を令和6年度に予定しており、出入口付近に観光農園等が掲載された案内看板の設置を検討するほか、多様な観光客への情報提供や交流の機会を創出できるようフルーツパークにきの道の駅事業化を含むリニューアルに向けた調査・検討を行う。

問 フルーツパークにきの道の駅事業化に向けて、どのように進めていくのか。

産業課長 令和5年度中に基本構想策定、令和6年度は基本計画策定、令和7年度は実施設計、令和8年度に大規模改修、令和9年度から道の駅としてスタートする計画である。計画の先進的な自治体である群馬県高山村への研修視察のほか、道内における先進的な事例を収集する等、基礎的な調査研究を行った。今後の取組としては、庁内にワーキングチームを設置し、作業を進めるほか、広範な町民への景観の保全に対する意識の醸成を図る情報の提供を行うと共に、セミナーやワークショップの開催についても検討する。

問 景観も観光資源と捉えた景観条例制定の取組状況と今後の取組は。

町長 昨年11月に景観条例・景観

大規模改修でどのように変わるのでしょうか

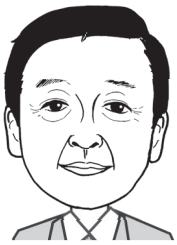
ニキポーのなにになに？

関係人口とは

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人口のことを指します。

銀山小学校校舎の利活用は

町長　今後検討していく



のざき　あきひろ
野崎　明廣　議員

問　銀山地区の各施設について、機能を集約した新たな建物を建設する考えは。

町長　仁木町公共施設個別施設計画において、令和18年度までに大規模改修や解体などを予定していることから、適宜修繕等を行い、安全面や機能面で不具合が発生しないよう、適切な管理及び運営に努めてまいりたい。

問　各施設を集約することは、町の財政上どのような効果が期待できるのか。

産業課長　施設を一つにまとめることで、維持管理面で大きなメリットがあると考えられる。

例えば、光熱水費や保険料、除雪費などは建物が一つであれば、経費も軽減されることが期待され、町の財政負担にも効果的であると考えられる。

問　令和8年度から、銀山中学校校舎を義務教育学校として活用するが、銀山小学校校舎を別の目的として活用するためには、どのような施設にするかを検討する必要がある。今後の進め方についての考えは。

産業課長　令和7年度まで現在の校舎を使用することから逆算し、令和8年度に大規模改修を実施すると想定した場合、令和7年度には実施設計を策定する必要がある。実施設計の前には基本構想や基本設計を策定する必要があるため、令和5年度中には一定の方向性を決める必要があると考える。

問　小学校の再活用・利活用の方向性というものについては、今後対応を考えていくのか。

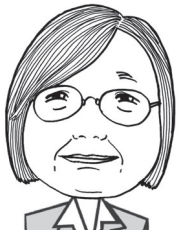
町長　銀山小学校校舎の存廃については、今後協議していかなければならない。

解体するのが良いのか、又は有効活用することが可能なのか。指摘のあった他の公共施設を一体化し機能を集約した施設にすべきなのか、また、新たな機能を持たせた施設にすべきなのかというような議論を深めていかなければならないと考えている。

その際には、当然、住民のみなさんの意向にも沿いながら結論を出せるように進めていきたい。

銀山小学校は建築後 45 年が経過しました

次ページは　一般質問　上村議員　総務経済常任委員会付託案件審査



うえむら　ちえこ
上村智恵子　議員

ぎんれい36の空室対策は

町長　みなし特定公共賃貸住宅として整備

問　本町は中学生までの医療費の助成も所得制限なくいち早く取り入れたが、今では近隣自治体も着々と高校生まで拡充している。本町は高校生までの拡充を検討したのか。

町長　本町においては、高校生に対する通学費等補助制度を始め、地域の実態に適した実効性の高い支援を行っていることから、中学生までを対象として医療費の助成を行っていくこととしているが、高校生までの助成の拡大について、今後は医療費の推移や子育て世帯の家計の状況等を踏まえ必要性について考えてまいりたい。

問　国では、小学生以上に助成している自治体に対し、国民健康保険の国庫負担を減額する厳罰措置をしているそうだが、そのような実態はあるのか。

ほけん課長　国から出る調整交付金が下がるような形になり、その部分については、町で一般会計から繰り入れるような形で行っている。

問　銀山のぎんれい36は長い間空室になっているが、対策について検討したのか。

町長　住宅の間取りや居住環境がわかる動画を作成し、YouTubeを通じて配信する等、新たな取組も実施した。

また、一部空家をみなし**特定公共賃貸住宅**として募集を始めた。

問　4戸をみなし特定公共賃貸住宅として使用すると決めていただき、ほっとしている。

もう少し早くここに気づいて欲しかったと思うがいかがか。

町長　そもそも、ぎんれい36については、私が町長になる前に議員の皆さんが承諾して計画していた。当時の議員の皆さんが、覚悟の上で建てたものであり、それを今の行政の責任において対処しなかったというのは、納得いかない部分がある。

空家が続いて町営住宅として機能が果たせないので、町の考えの中で決断させていただいたことを受け止めていただきたい。

ぎんれい36は空家が増えつつあります

ニキポーのなになに？

特定公共賃貸住宅とは

収入制限により公営住宅には申し込めない方（中堅所得者）向けの住宅であり、居住及び同居する方の政令月収が158,000円～487,000円の方が対象となる住宅です。

常任委員会付託案件審査

付託審査開始

令和５年４月19日開催の総務経済常任委員会では令和５年第１回定例会にて付託された陳情に関する件について協議しました。

令和5年4月19日に開催された総務経済常任委員会では、3月22日の定例会にて委員会付託された、「（仮称）古平・仁木・余市ウィンドファーム事業」に関する陳情の今後の審査の進め方について、主に、

①町側への資料要求
②町側への出席要求
③参考人の出席要求

等について、協議しました。

協議結果は下記のとおりです。

①町側への資料要求

以下の資料を要求することとしました。

1．北海道から本町への計画段階環境配慮書に係る意見照会文書
2．本町から北海道への計画段階環境配慮書に係る回答文書
3．計画段階環境配慮書の縦覧や、「仁木町の風力発電を考える会」から提出された陳情等、当該事業に関する対応経過（時系列で）

②町側への出席要求

以下の町執行部の出席を求めることとしました。

・町長、副町長、教育長、総務課長、財政課長、企画課長、住民環境課長

③参考人の出席要求

以下の参考人の出席を求めることとしました。

・陳情者である「仁木町の風力発電を考える会」の代表を含む３名

ぎかいトピックス

全国町村議会議長会自治功労表彰

横関　議長　７年表彰
上村　議員　27年表彰を受賞

第74回全国町村議会議長会定期総会において、横関議長が町議会議長在職７年以上、上村議員が町議会議員在職27年以上による自治功労賞を受賞されました。

横関議長は平成15年８月の初当選後、平成27年から議長として、上村議員は平成３年１月に初当選を果たし、それぞれ地域の振興発展と住民福祉の向上のため、日夜献身的に活動されたことが評価され、今回の自治功労賞の受賞に至りました。

27年表彰を受賞した上村議員（うえむら）

議長７年表彰を受賞した横関議長（よこぜき）

次ページは　特集　未来の子どもたちのために　町民がしてほしいこと

特集

未来の子どもたちのために

ふれあい遊トピア公園

わたしたち町民がしてほしいこと

令和元年の改選から早くも４年が経とうとしています。この間、議会広報の最終ページ「絆～親子のつながり～」では今号まで計15件のご家族に取材をさせていただきました。

取材の中では議会や町に対して様々な要望をいただいてきましたが、その中で一番多かったのが、『公園の充実』の声。

今回の特集では、「公園の充実」について考えます。

どんな声があった？

雨の日でも遊べる場所を

小さい子でも遊べる遊具を

町の中心部に大きい公園を

果実とやすらぎの里公園（駅前）

遊具が増えるといいな。

道路側に柵がないので、ボール遊びは少し不安。

柵はあるけれど、線路が近いので怖い。ＪＲが廃止されたら線路はどうなるの？

遊具の周りも芝生だったらいいのに。

銀山地区の公園はシーソーとブランコしかありません。アスレチックと滑り台の一体型のものなどがほしいです。
また、手洗いできるなど、水を使える環境があれば衛生面でも良いと思います。

銀山保育園関係者の皆さん

（稲垣保育士、那須さん、瀬川さん、酒井さん）

冬は雪捨て場になるので、春は雪解けまで遊べません。

町営住宅「ぎんれい36」の公園

銀山小学校の校舎が使われなくなったら、グラウンドを公園にしてはいかがでしょう。

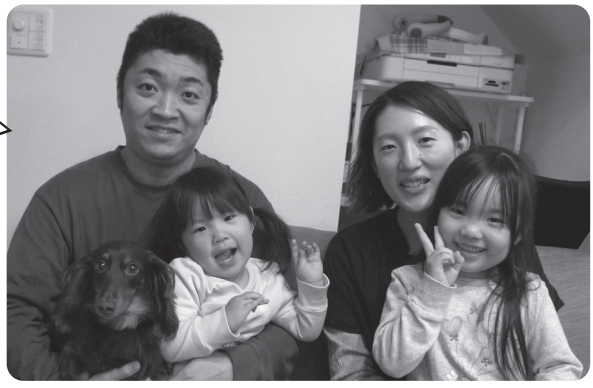
（然別・平畑さん）

新しくできるすこやか子育て支援センターの使い勝手が良ければ嬉しいです。児童館もできるということで、雨の日の遊び場として期待しています。

傾斜があるので、小さい子を連れて行くのは少しためらいます。

「フルールパークにき」の公園

駅前の公園に行くことが多いですが、日陰が無いので、夏の暑い時期に休める場所があるといいなと思います。
あとは、土・日に室内で遊べる場所が欲しいですね。新しいすこやか子育て支援センターの児童館は土・日も使えるのでしょうか。



（東町・岡崎さん）

すこやか子育て支援センター ikor（イコロ）
※イメージパース

すこやか子育て支援センターについては、これから完成する建物ということもあり、町民のみなさんの期待も高く、特に児童館に対する期待の声が多くありました。
今後、すこやか子育て支援センターの運用面についても、確認してまいります。

次ページは 議会活性化特別委員会・質問のゆくえ

提言は予算に反映されたのか

議会活性化特別委員会

令和４年度からの取組として、総務経済常任委員会による所管事務調査や、決算特別委員会において、町への提言をおこなっており、昨年は、計３点についての提言書を提出しました。
提言書はどのように新年度予算に反映されたのでしょうか。結果をまとめました。

提言１

有害鳥獣における被害は増加傾向にあり、令和３年度の被害実績額は約1396万円と甚大な被害をもたらしている。
町としても基幹産業である農業を守るためにも、有害鳥獣による被害を最小限に留めるべく、各種わな等の管理状況を含めた現状の課題を整理し、課題解決に向けた対策を講じられたい。

↓

新年度から　エゾシカの捕獲に対し１頭あたり２万円助成

提言２

食の自立支援（配食サービス）事業は、定期的に居宅へ訪問し、栄養のバランスのとれた食事の提供を行うとともに安否確認を行う業務である。
当該委託費については増加傾向にあり、１食当たりの費用も増加している状況である。現状を精査の上、最少の経費で最大の効果を発揮できるよう、運用方法やサービスの向上について検討していただきたい。

↓

新年度から　１食あたりの利用料を１５０円減額

提言３

国民健康保険税については、令和３年度に賦課方式及び税率の見直しを行っており、令和３年度末の国民健康保険財政調整基金現在高は、１億３千万円を超える状況である。
今後においては、基金の推移を見極めた上で、被保険者の負担の軽減について検討していただきたい。

↓

新年度から　試算すると、令和７～９年度には基金残高が２千万円を下回ることから、税率は見直さない

ぎかいトピックス

徳島県板野町議会が来訪

議会広報づくりで貴重な意見交換

５月10日、徳島県板野町議会（犬伏博昭議長、玉井孝治町長外９名）が来訪し、議会広報について研修視察が行われました。
研修視察には、議会広報編集特別委員会委員が同席し、本町の議会だより及びぷち通信の編集方法等を説明した後、意見交換を行いました。

意見交換では、板野町議会は今年度から議会単独広報を発行予定とのことで、議会だよりの構成や、編集に伴う議員・事務局の協力体制等についての質問がありました。
また、第１号発行に向けて、日々奮闘されていることをお聞きし、私たちも初心に帰り、日々研鑽していかなければならないと改めて感じました。

追跡

あれからどうなった？

質問のゆくえ

議会だよりでは、定例会での一般質問や町民の皆さんからの請願・陳情を掲載していますが、町政にどう反映されたのかを追跡調査しています。

町道仁小前線を改良

〈令和元年第４回定例会〉

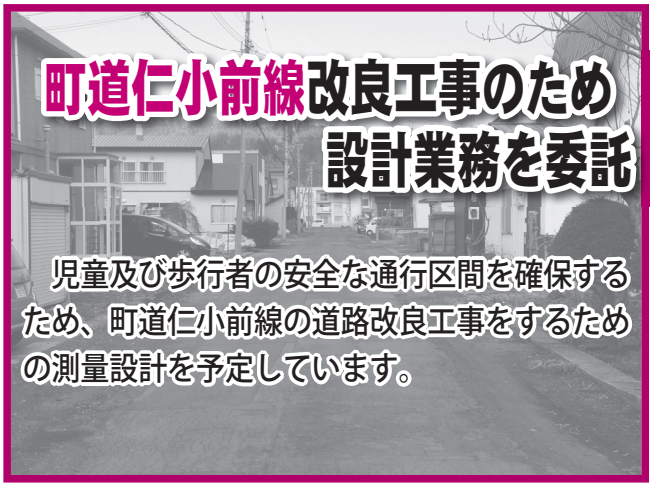
質問 町道の整備を

「仁小前線」と「仁小中線」はパッチング補修による凹凸が著しい。利用者の視点に立った道路整備が必要ではないか。

答弁 検討してまいりたい

今後、新たな計画を立てる上で検討してまいりたい

あれから…こうなりました



町道仁小前線改良工事のため設計業務を委託

児童及び歩行者の安全な通行区間を確保するため、町道仁小前線の道路改良工事をするための測量設計を予定しています。

接種費用の一部を助成

〈令和３年第４回定例会〉

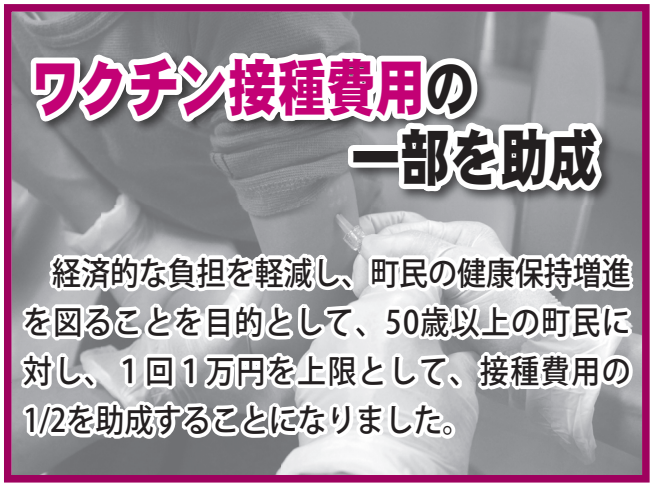
質問 ワクチン接種に助成を

高齢化が進む本町にとって町民を守るためにも帯状疱疹ワクチン接種に助成することが重要である。

答弁 必要性を検討したい

国や他の市町村の動向を注視しながら、必要性を検討してまいりたい

あれから…こうなりました



ワクチン接種費用の一部を助成

経済的な負担を軽減し、町民の健康保持増進を図ることを目的として、50歳以上の町民に対し、１回１万円を上限として、接種費用の1/2を助成することになりました。

第37回町村議会広報全国コンクール 優秀賞（全国第９位）を受賞しました！

この度「議会だよりにき１３５号」が第37回町村議会広報全国コンクールにおいて、住民登場の多彩さや編集力の高さが評価され、優秀賞（全国第９位）を受賞しました。今後も、今まで以上に読みやすい議会広報紙作成のため、日々研鑽を重ね努力していきます。

議会だよりにき 135 号

５年連続７度目の受賞となりました

裏表紙は 絆～親子のつながり～・まちの人

議会だより にき
no.139

絆 ～親子のつながり～

後継者にも手厚い補助を

伊藤 直希さん（西町）

連載30回目は、西町在住の伊藤さんファミリーを紹介します。奥様とお子さん3人の5人家族です。
お仕事は農業を営んでいらっしゃいます。

☺仁木町の子育て環境はどうですか。

とても充実しています。子どもが3人いるので、特に医療費や保育料の補助はとても助かります。

☺子育てに関して町に何か望むことはありますか。

町内に公園はいくつかありますが、中心部から離れていて利便性がよくありません。町の中心部に近い位置に、大きい公園が一つ欲しいです。
また、今の公園は3歳くらいまでの小さな子どもが遊びづらいので、小さな子どもも遊べる公園になってほしいです。

☺仁木町の将来について、どのように感じていますか。

新規就農者や移住者への補助が多いですが、既存の農家の後継者や、本町出身で町外に転出したけれど、地域に愛着があって戻ってくる人にも補助があるといいと思います。地域のことを知っている分、町へのメリットも大きいのではないかと思います。

その他、一般家庭の生活排水による環境への影響が心配です。子や孫の代までの長期間で考えたときに問題はないのでしょうか。浄化槽設置の補助を手厚くしてほしいです。

☺お子さんに対してメッセージを！

健康で元気に育ってほしいです。

伊藤さんは札幌市で生まれ育ち、20代前半で町内にあるお父様の農家を継ぐために就農されました。
本町の生活については、不自由していないという伊藤さん。
現在、栽培しているミニトマトの価格が下落することが心配とのことで、他の作物への研究にも励んでいます。
私たち議員も、向上心を持ち続ける姿勢の大切さを再認識しました。

（取材・インタビュー　嶋田　茂）

輝く町民さんを紹介！ まちの人

一緒に町を盛り上げましょう

シーヅブラン　横山　志津　さん

2018年の10月に西町の国道沿いに1軒のパン屋さんがオープンしてからもうすぐ5年が経とうとしています。
パン屋さんを経営しているのは横山さん。元々は小・中学校の教員として20年間活躍されていました。
開業前には、「冬にできることはないだろうか・・・。町民さんの忙しい時期を支えたい」と考えるように。元々、お菓子作りが好きだったことに加え、パン教室に通っていたこともあって一念発起し、パン屋を始めました。
「添加物が少なく、『子どもが食べても安心なもの』がお店の売りです。」と語る横山さん。使用する小麦の種類を変え、食パンだけでも大きく分けて5種類以上を作っています。
これまで「地域のために」という想いでやってきた横山さんですが、これからも「地域の方に食べてもらいたい」という姿勢は変わらないとのこと。お店を町民さんの憩いの場にしたいと今後の展望を語ってくれました。
町内のお客さまから、「忙しい時期は食パンよりも惣菜パンの方が良い」との要望を受け、少しずつ惣菜パンの種類も増やしているとのことで、これからの新商品にも期待してしまいます。
最後に「予約は初めてのお客様は電話で、以降はＬＩＮＥ、携帯のショートメールからも可能ですので、気軽にご利用ください。」とのメッセージをいただきました。

（取材・記事　上村智恵子）

次の議会は
6月 定例会
（6月下旬開催予定）

◆編集・発行責任者
議　長　横関　一雄

◆議会広報編集特別委員会
委員長　野崎　明廣
副委員長　木村　章生
委　員　麿　直之
門脇　吉春
佐藤　秀教
嶋田　茂
上村智恵子
宮本　幹夫

寄付行為の禁止

議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。
また、有権者が求めてもいけません。
ご理解をお願いします。

発行日／令和5年5月18日（年4回発行）
発　行／北海道仁木町議会
編　集／議会広報編集特別委員会

〒048-2492
北海道余市郡仁木町西町1丁目36番地1
TEL 0135(32)3954
FAX 0135(32)3963

ニキボー®は一般社団法人仁木町観光協会の登録商標です。　商標登録第6398254号、6398255号